

平成 22 年度学問探検ゼミ（松岡准教授担当） 成果発表会

2011 年 2 月 25 日に大分県立大分南高校において「教育 G P」事業の一つである「学問探検ゼミ」（松岡輝美准教授担当）の成果発表会を実施しました。

この「学問探検ゼミ」では、大分南高校の 2 年生 3 人が、2010 年の 10 月から 2011 年の 1 月までの 4 ヶ月間、本学経済学部の中級演習Ⅱの 2 年生 7 人と協同学習を行いました。

今年度は、大分大学が地域における教育・研究の基地として、環境保護のためにどのような取り組みを行っているのかをテーマとして学習を進めました。具体的には、3 チームで旦野原キャンパス内の各学部や生協その他の施設を訪ね、観察やインタビューによる聞き取りを行い、web アンケートで大学生の環境保護意識を調査して、現状把握、仮説検証、問題発見、改善提案を段階的にまとめました。

発表会の第一部では「探検！エコ活動@大分大学」として、高校生 3 人がリレーで発表し、第二部では、高校生と大学生合同の司会進行によって、資源リサイクルについてのクイズを出し、クリッカー（質問の回答を送信するリモコン。回答受信後、瞬時に集計結果をスライド上に表示できる）を使用して、会場の参加者全員に解答を考えてもらいました。

リサイクル弁当の容器に施された工夫を実演したり、問いかけながら、聞き手の思考を促し、レスポンスを引き出す聴衆参加型の発表で、第一部、第二部ともに盛況のうちに終了しました。いずれも環境保護についての知識や意識を高め、各々が今後どのように環境保護活動に具体的に携わっていくかを考えるきっかけになってくれることを期待します。

スキルの習得・資料収集・調査・分析・発表は、通常の演習でもやることですが、「学問探検ゼミ」の特徴は、大学生にとっては、他者に説明し、教えることを意識して学習するという経験、高校生にとっては、社会の問題を解決するための実践的な学習経験という、双方にとって、より高きを目指す学習である点です。セメスター期間中、学部の 3 年生と大学院のゼミ生のボランティアな学習サポートを得て、自らの持てる知をボーダーレスに他者へ伝授していく正の連鎖を生み出したことも成果の一つでした。



大学生から高校生に修了証書を授与



クリッカーを使った質問に答える参加者